

広島県「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」指定校
兼 令和4・令和5年度東広島市教育推進指定校



東広島市立福富小・中学校

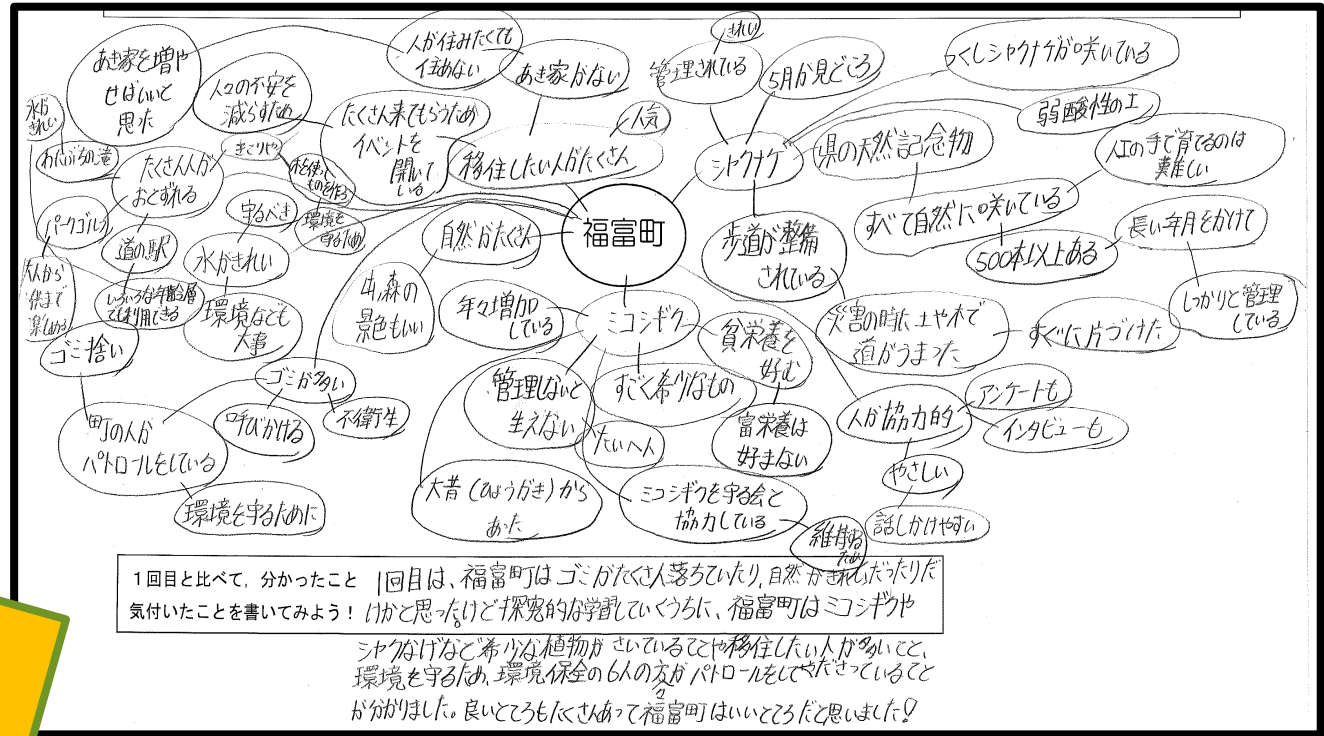
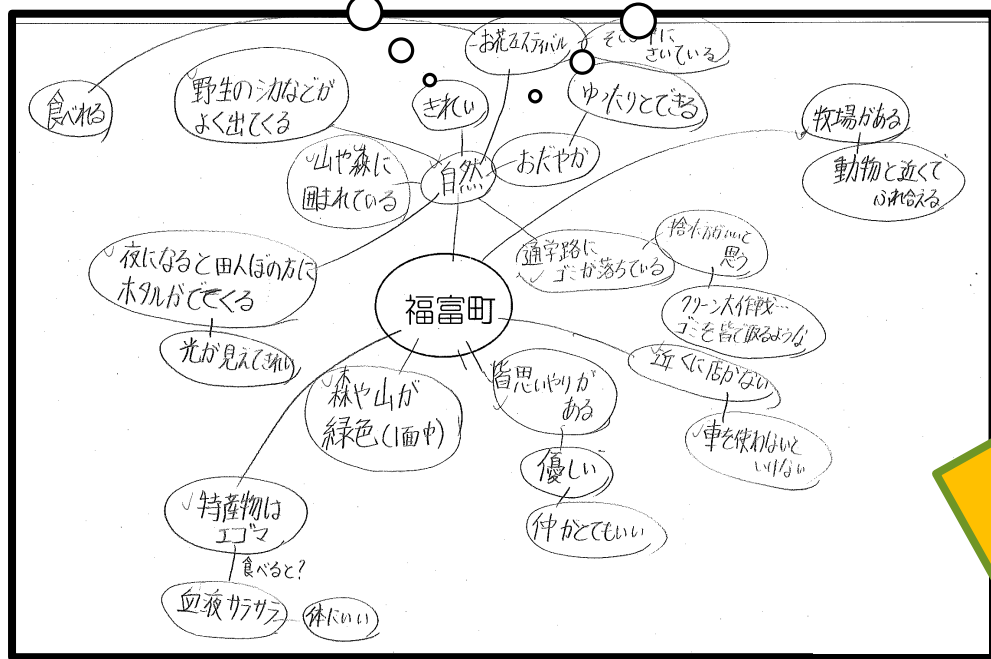
探究のあゆみ

※ リーフレット「東広島市立福富小・中学校 探究のあゆみ」と併せてごらんください。

①まずは実態把握！

地域のおよさ

地域への思い



単元末時

②「ワクワク」が大切



課題設定のポイント

- ・発見・疑問を大切に
- ・地域へLet's go!
- ・自分は何ができる？

【 福富に住もう 単元ストーリー】 福富中学校第1・2学年

1 年生	2 年生	地域の連携 体験活動・資料	生徒の意識の流れ 【自分の生き方を考える力】					
	○昨年度の学習を振り返り、1学年に伝える成果と課題についてまとめ、発表の準備をする。		○昨年度の成果と課題について、1学年に分かりやすいようまとめよう。					
○昨年度の学習の成果と課題、事前アンケートの集計結果から、福富町について自分たちが知っていることについて再確認する。人口減少・少子高齢化を改善するために、福富に移住して人々を増やす必要がある。そのために、自分たちが何ができるか考え、グループで活動するためのテーマを設定する。	<資料> 事前アンケート集計結果		○福富町の課題は何だろう。(人口減少・少子高齢化・ごみ問題) ○福富町は自然が豊かで、たくさん魅力がある。					
○テーマごとに担当を決め、福富に移住して人々を増やすためにどうすればよいか、学習の計画を立てる。昨年度のグループにこだわらず、実態に即して新たなグループを構成する。	<地域との連携> 情報源にあたる人選の駅 しゃくねげ館 福富グラウンド 福富パークゴルフ場 福富支所 竹仁地域センター 久寿地域センター カドレー ラベンダーハウス KNEE HOUSE カントリーグレイ きこりや など		○福富に住むためには、どのような方法があるだろう。 ○収集した情報は正しいかどうか確認しよう。					
<table border="1"> <tr> <td>自然 山・水</td> <td>公園</td> <td>特産品 野菜</td> <td>郷土 生活</td> <td>なごみ 問題</td> </tr> </table> <p>各グループでの活動(※この中間が8/21)</p>	自然 山・水	公園	特産品 野菜	郷土 生活	なごみ 問題			○魅力を発信して、他地域の人たちに福富町を知ってもらおう。 ○住みやすい福富町にするために、私たちができることはやってみよう。
自然 山・水	公園	特産品 野菜	郷土 生活	なごみ 問題				
○地域の方々へのインタビューや調査活動から、集めた情報の分析や検証を行い、まとめる。 ○中学校1・2年生で中間発表を行い、評価・助言をもらう。 ○学校運営協議会の方々の前で中間発表を行う。			○他グループに聞いてもらって分かりにくいところを改善しよう。					
○指標をいただいた点と中間発表で学んだ他グループの実践内容を生かし、自分たちができる地域に貢献できる活動を考え、実践していく。[※ここが11/14] ・地域の方々と連携し、共にできる活動を計画する。 ・福富町の魅力マップを作り、町内の様々な施設・事業所に設置してもらおう。 ・魅力を市の広報誌に掲載してもらえよう交渉する。 ・企画を支所に持ち込み、検討してもらおう。など			○住みやすい福富町を目指して活動することで、地域に貢献することができた。					
○活動内容、成果と課題についてまとめ、発表を通して情報を共有する。			○自分たちの学びを、次につなげてもらいたい。					
○活動を通して身に付いた資質・能力についてまとめる。			○この活動を通して、これからの生活にも役立つ力が身に付いた。					
○次年度に向けて、成果と課題をまとめておく。			○調べたことを次年度に生かせるよう整理しておこう。					

めざす児童・生徒像
福富の魅力を発信して他地域の人たちに福富町を知ってもらい、住みやすい福富町を目指して活動することを通して、福富の地域に誇りをもち、地域に貢献しようとする意識を高めるとともに、自らさまざまな視点で考え、自他のよさを生かしながら協力して課題解決に取り組むことができる生徒

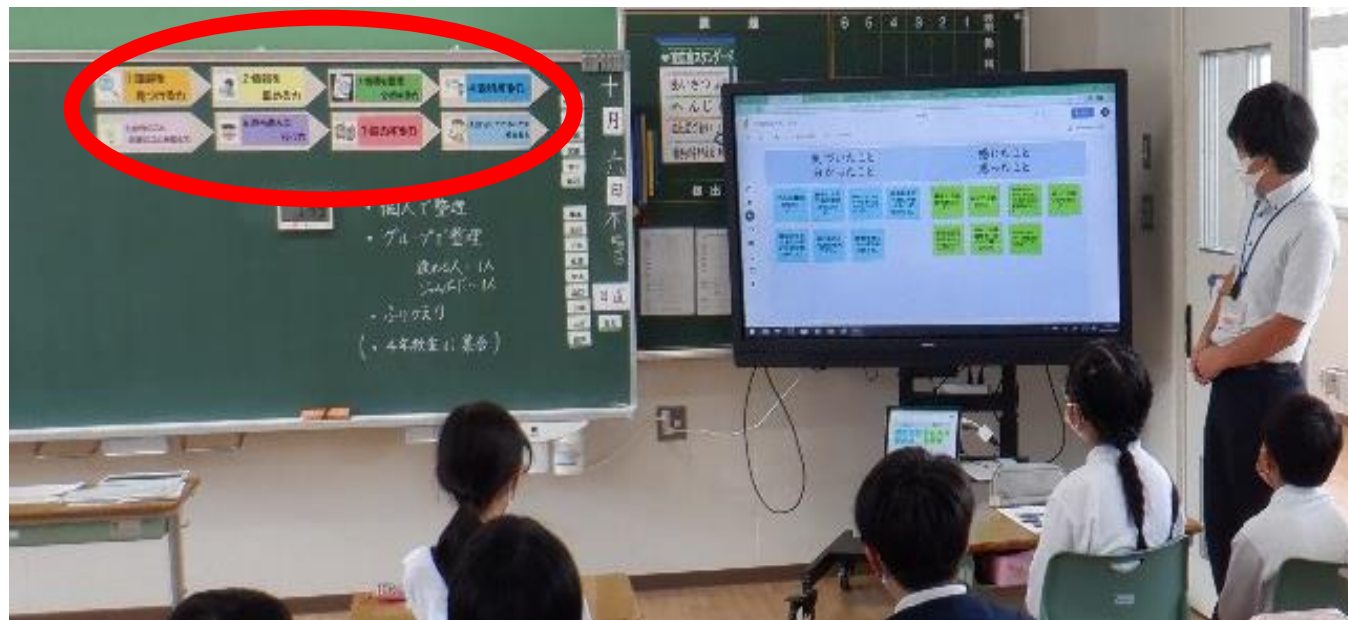
③ルールブックの開発

	協働性	レベル	主体性	
責任	<u>役割をもち、最後までやり抜こうとしている。</u>	1	<u>課題について、自分の意見をもち、前向きに取り組もうとしている。</u>	肯定的思考
+共感	他者の意見を聞き、自分の意見と違った場合でも、そのよさを認め、共感しようとしている。	2	<u>目的をもって学習に取り組もうとしている。</u>	+目的意識
+メタ認知	他者の意見と自分の意見を比較し、自分の意見を客観的に <u>捉えながら課題解決に取り組もうとしている。</u>	3	課題解決に向けて、見通しをもち、 <u>自分で目標を立てながら学習に取り組もうとしている。</u>	+見通し
+特徴の活用	自他のよさを生かしながら、協力して課題解決に取り組もうとしている。	4	<u>課題解決に向けて、自らさまざまな視点で考えようとしている。</u>	+広い視野
+合意形成	<u>議論をすることによって、合意形成を図ろうとしている。</u>	5	<u>設定した仮説に関する情報を自ら進んで収集し、結論を導き出そうとしている。</u>	+思考の手順

令和4年度版

※赤字が変更点

④資質・能力の提示



⑤ 学びの可視化



川の生き物
展示<°)))≡

⑦ 福富型協働的な学び



異学年集団



地域との協働

⑧学校運営協議会



⑨ よろよろファイナル



地域の活用

→ 主体的に探究的な学習を行うことができる

協働的な学びを展開

→ 福富の地域に誇りをもち、自己の生き方について主体的に考えることができる

福富小・中 探究マップ

福富町には、起業家や移住者が多く、魅力的な場所も数多く存在しています。福富小・中学校職員は「この豊かな地域を活用し、様々な人と出会い、思いや考えを知ることで、主体的に探究的な学習を行うことができるのではないか？協働的な学びを展開することで福富の地域に誇りをもち、自己の生き方について主体的に考えることができるのではないか？」と考え、郷土福富を題材にした探究的な学習を進めました。3年間で関わっていた施設、探究の対象となった場所などを紹介します。ここには掲載しませんが、この他にも域外で関わっていた施設もあります。

- 関わりのある施設・場所
- 小1
 - 小2
 - 小3・4
 - 小5・6
 - 中1・2
 - 中3

ミコシギク

ミコシギクは「遺存植物」と言われており、広島県内では福富町内にしか自生していないとされている貴重な植物です。

中学生が保全活動を行っていることを知った学校運営協議会が中心となって、専門家や地域の方と「福富のミコシギクを守る会」を設立しました。



★ 東広島市役所 福富支所
生涯学習支援センター 社会福祉協議会
久芳地域センター

【小3・4】育てた野菜を使い、協力して地域のイベントを開催しました。

【中1・2】ごみ拾いを行って、出てきた疑問の解説、市の取組事例を紹介していただきました。

【中3】町内における、住民支援活動についてのインタビューや活動を行いました。



★ 道の駅 湖畔の里 福富

【小2】どんなものが売られているか、どんな人が働いているか探検して調べました。

【小5・6】道の駅で開催されたアクアフェスタで、「みんなを笑顔にする」をテーマに、スタンプラリーやワークショップなどを企画し実施しました。

【中1・2】福富町の観光マップを作成し、掲示していただきました。

ご清聴ありがとうございました。

